横断ＢＯＸ等に関する
調査表記入マニュアル

〔Ｄ０９０〕 横 断 Ｂ Ｏ Ｘ 基 本

この調査表は、横断ＢＯＸ等に関する基本的データを登録するためのものである。なお、ここで取扱う横断ＢＯＸ等とは、橋梁として取扱われる（スパン2.0m以上，土被り1.0m未満の橋台をもつ構造）以外で管理する道路を横断しているボックスカルバート、門形カルバート及びアーチカルバート等とする。ただし、水路及び自歩道等で道路を縦断しているボックスカルバート等が存在した場合は取扱うものとする。

なお、管渠による横断構造物は、パイプカルバートで取扱う。

１．一般的注意事項

（１）データは次の単位で作成する。

○　路線毎とする。

○　横断ＢＯＸ等箇所毎とする。

○　設置区分毎とする。　注）

○　構造形式毎とする。

注）用途が水路のみの場合は、「D093横断ＢＯＸ占用物」は作成不要である。

（２）横断ＢＯＸ等に関する写真・図面類については「D091横断ＢＯＸ図面類」にて作成する。

（３）横断ＢＯＸ等に関する補修履歴については「D092横断ＢＯＸ補修歴」にて作成する。

（４）横断ＢＯＸ内の占用物件については「D093横断ＢＯＸ占用物」にて作成する。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（G）現旧区分C

（H）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

（Ｊ）整理番号３

（N）補助番号

上記（1）、（2）、（3）、（C）、（D）、（E）、（F）、（G）、（H）、（Ｉ）、（Ｊ）、（N）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（P）名称

該当する横断ＢＯＸ等の名称を、１０文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字）で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

（Q）百米標（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（R）距離（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（U）施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（記入例）　昭和６１年　　———>　　３６１

↑

年号コード（３：昭和）

（V）施設改修年度：◆

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は‘＊’を記入する。

（記入例）　平成　５年　　———>　　４０５

↑

年号コード（４：平成）

（W）完成年月：◆

横断ＢＯＸ等が完成した年月を記入する。（年は西暦年を記入）

（記入例）　１９８６年　３月　　―――>　　１９８６０３

（Ｘ）上り下り区分Ｃ

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
上下線共通	0
上　り　線	1
下　り　線	2

（Ｚ）所在地

該当する区間の横断ＢＯＸ等の所在地（字番地まで）について、３０文字以内の日本語で記入する。

(AA) 設置区分Ｃ：◆

設置区分にいて、該当するコードを記入する。

区　　分	コード	区　　分	コード
車　　道	1	車道＋横断水路併用	5
自転者・歩行者道	2	車道・自歩道＋横断水路併用	6
車道＋自歩道併用	3	自歩道＋横断水路併用	7
横断水路	4	そ の 他	9

(AC) 構造形式種別Ｃ：◆

構造形式種別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
一連ボックスカルバート	1
二連ボックスカルバート	2
門形カルバート	3
コルゲートパイプ	4
そ　の　他	9

(AE) 工場製品場所打別Ｃ

工場製品・場所打の別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
プレキャスト（工場製品）	1
場所打ち	2
その他	9

(AG) 延長（m）：◆

横断ＢＯＸ等の延長（構造物延長）を、小数点以下１位まで記入する。

(AH) 内空幅（m）：◆

横断ＢＯＸ等の内空寸法の幅を、小数点以下２位まで記入する。なお、二連ボックス等のように２断面以上の内空断面を有する横断ＢＯＸ等については、代表的な断面で記入する。

(AI) 内空高（m）：◆

横断ＢＯＸ等の内空寸法の高さ（路面より天井まで）を、小数点以下２位まで記入する。なお、二連ボックス等のように２断面以上の内空断面を有する横断ＢＯＸ等については、代表的な断面で記入する。

(AJ) 最大土被り（m）

(AK) 最小土被り（m）：◆

上記（AJ）、（AK）については最大土被りと最小土被りを、小数点以下１位まで記入する。なお、土被りが一定の場合には、最大、最小土被りの記入欄に同値を記入する。

(AL) 基礎種類Ｃ：◆

横断Ｂ０Ｘ等の基礎の種類について、該当するコードを記入する。なお、種類が複数ある場合は代表的なもので記入。

区　　分	コード
直接基礎	１１
場所打ちぐい（深礎含む）	１２
既製鋼ぐい	１３
既製ＲＣぐい	１４
既製ＰＣぐい	１５
木 ぐ い	１６
既製ＰＨＣぐい	１７
そ の 他	９９

(AN) 基礎本数（本）

横断ＢＯＸ等の杭本数を記入する。直接基礎の場合は‘＊’を記入する。

(AO) 基礎杭径（m）

横断ＢＯＸ等の杭径を、小数点以下２位まで記入する。直接基礎の場合は‘＊’を記入する。

(AP) 舗装種別Ｃ

横断ＢＯＸ等の舗装種別について、該当するコードを記入する。歩道と車道が併設されている場合は車道部について記入する。水路用の場合は‘＊’を記入する。

区　　分	コード	区　　分	コード
未　舗　装	1	インターロッキング系	6
コンクリート系	2	透水性As系	7
アスファルト系	3	排水性As系	8
平板ブロック系	4	そ　の　他	9
Ａsブロック系	5		

(AR) 舗装厚（cm）

横断ＢＯＸ等の舗装厚（表層）を記入する。水路用の場合は‘＊’を記入する。

(AS) 舗装面積（㎡）

横断ＢＯＸ等の舗装面積を記入する。水路用の場合は‘＊’を記入する。

(AV) 通学路指定有無Ｃ

通学路指定の有・無について、該当するコードを記入する。用途が水路のみの場合は‘＊’を記入する。

区　　分	コード
無　し	1
有　り	2

(AX) 通学路指定年月日

通学路指定がある場合、指定になった年月日を記入する。通学路指定がない場合、および用途が水路のみの場合は‘＊’を記入する。（年は西暦年を記入）

（記入例）　１９８４年　５月　５日　――――>　１９８４０５０５

(AY) 管理協定有無Ｃ

管理協定の有・無について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード

無　　し	1
有　　り	2

(BA) 協定年月日

管理協定がある場合、管理協定がなされた年月日を記入する。（年は西暦年を記入）

管理協定がない場合は‘＊’を記入する。

（記入例）　１９８４年　３月１５日　　―――>　　１９８４０３１５

(BB) 協定先名

協定先名を１０文字以内の日本語で記入する。管理協定がない場合は‘＊’を記入する。

(BF) 照明有無Ｃ

照明の有無について、該当するコードを記入する。用途が水路等の場合は‘＊’を記入する。

区　　分	コード
無　　し	0
有　　り	1

(BK) ロードヒート有無Ｃ

横断ＢＯＸ内及び出入口に設置されているロードヒーティングの有無について、該当するコードを記入する。用途が水路等の場合は‘＊’を記入する。

(BF) 照明有無Ｃのコード表と同様。

(BP) 備考１

特記事項があれば５０文字以内の日本語で記入する。

(BQ) 備考２

特記事項があれば５０文字以内の日本語で記入する。

(BR) 備考３

特記事項があれば５０文字以内の日本語で記入する。

(BS) 市区町村Ｃ：◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

（記入例）　　茨城県鹿島郡旭村の場合　　―――>　　コード：０８４０１
（検査数字は含まない）

〔Ｄ０９２〕 横 断 Ｂ Ｏ Ｘ 補 修 歴

この調査表は、横断ＢＯＸ等の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

１．一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

○ 「D090横断ＢＯＸ基本」の作成単位毎とする。

○ 補修が行われた毎とする。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｇ－１）現旧区分

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｇ－１）、（Ｈ）、（Ｉ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（Ｐ）補修年月

補修を行った年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例） １９８５年１０月 ———> １９８５１０

（Ｑ）補修内容Ｃ

補修内容について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード	区　　分	コード
舗装		本体の補強	４１
全面打ち替え	１１	その他	４９
〃 オーバーレイ	１２	照明設備　取替え	５１
部分打ち替え	１３	部分修複	５２
〃 オーバーレイ	１４	その他	５９
その他	１９	排水設備　取替え	６１
内壁の修復	２１	部分修複	６２
その他	２９	その他	６９
漏水防止	３１	その他	９９
その他	３９		

（Ｓ）備考

損傷原因等について５０文字以内の日本語で記入する。

〔Ｄ０９３〕 横 断 Ｂ Ｏ Ｘ 占 用 物

この調査表は、横断ＢＯＸ等内の占用物件に関するデータを登録するためのものである。

１．一般的注意事項

（１）データは次の単位で作成する。

○ 「D090横断ＢＯＸ基本」の作成単位毎とする。

○ 占用物件毎とする。

（２）用途が水路のみの場合は作成不要。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｇ－１）現旧区分

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｇ－１）、（Ｈ）、（Ｉ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1.共通注意事項」を参照のこと。

（Ｐ）占用物件種別Ｃ

占用物件種別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード	区　　分	コード
上　水　道	１１	ガ　　ス	１７
工業用水道	１２	道路情報板	１８
農業用水	１３	道路標識	１９
下　水　道	１４	通信ケーブル等	５３
電　　力	１５	Ｉ・Ｔ・Ｖ	５４
電　　話	１６	そ　の　他	９９

（R）寸法

・　電力及び電話については、条数と段数を記入する。

・　道路情報板・道路標識及びＩＴＶの場合は‘＊’を記入する。

・　これら以外については公称径（φ）を㎜単位で記入する。

（記入例－１）　「上水道　φ200 」の場合　―――＞　２００

（記入例－２）　「電力　３条５段」の場合　―――＞　０３０５

（S）管理者名

占用物件の管理者名を、１０文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D090：横断ＢＯＸ等（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分Ｃ	半角1文字		○	○
整理番号１	半角8文字		○	○
整理番号２	半角4文字		○	○
整理番号３	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字			○
百米標	999.9	ｋｍ	○	○
距離	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦	○	○
完成年月	199901	西暦	○	○
上り下り区分Ｃ	半角1文字			○
所在地	全角30文字			○
設置区分Ｃ	半角1文字		○	○
構造形式種別Ｃ	半角1文字		○	○
工場製品場所打別Ｃ	半角1文字			○
延長	9999.9	m	○	○
内空幅	99.99	m	○	○
内空高	9.99	m	○	○
最大土被り	99.9	m		○
最小土被り	99.9	m	○	○
基礎種類Ｃ	半角2文字		○	○
基礎本数	999	本		○
基礎杭径	9.99	m		○
舗装種別Ｃ	半角1文字			○
舗装厚	99	ｃｍ		○
舗装面積	999999	ｍ２		○
通学路指定有無Ｃ	半角1文字			○
通学路指定年月日	19990101	西暦		○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D090：横断ＢＯＸ等（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
管理協定有無Ｃ	半角1文字			○
協定年月日	19990101	西暦		○
協定先名	全角10文字			○
照明有無Ｃ	半角1文字			○
ロードヒート有無Ｃ	半角1文字			○
備考１	全角50文字			○
備考２	全角50文字			○
備考３	全角50文字			○
市区町村Ｃ	半角5文字		○	○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D092：横断ＢＯＸ等（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分Ｃ	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号１	半角8文字			○
整理番号２	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容Ｃ	半角2文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D093：横断ＢＯＸ等（占用物）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分Ｃ	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号１	半角8文字			○
整理番号２	半角4文字			○
占用物件種別Ｃ	半角2文字			○
寸法	9999			○
管理者名	全角10文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照